

ツバキ属

- ヤブツバキ
- ユキツバキ
- サザンカ
- ヒメサザンカ

中国産 黄花の原種

金花茶

ベトナム産

フラバ

ハイドウン

園芸品種

佗助

玉の浦

八重咲き→千重咲き

花糸の変化→花卉

日光、月光

外国種ツバキ

日本におけるツバキ

ツバキは暖地性、現在、ヤブツバキとユキツバキの野生型の分布がおもしろい。暖地性のツバキが広く日本に分布していたが、寒冷化してツバキの分布が後退したとき、豪雪地帯の雪の下で、あたたかく、生き残ったのが、ユキツバキで、雪の下でも、枝が柔らかく、折れない性質がある。後に再び海流などで、暖地性のヤブツバキがひろがった。ヤブツバキは海岸に分布する。海岸と山地ユキツバキとの間で、交雑したものは、両者の中間型（変異の幅が広い）でユキバタツバキと呼ぶ。

ヤブツバキとユキツバキの違い

分布 日本（北海道のぞく）  
花糸が根本で合着（筒状）

琵琶湖北から青森田沢湖  
根本までバラバラ

ユキバタツバキ 両者は自然交雑で雑種をつくる。

ツバキとサザンカ

サザンカは自生地、九州、四国南部

一般にツバキは花全体でポロリと落ちる。サザンカは花卉一枚一枚おきる。

例外もある。

ツバキ属の分布

